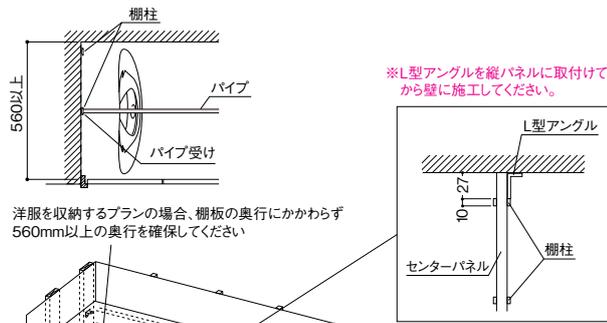




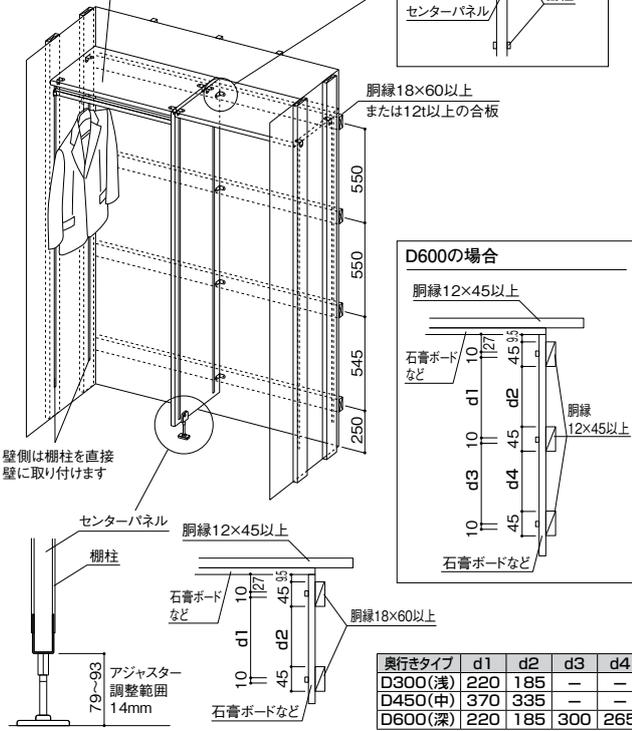
## H1945の場合

### 設置の条件 床置施工の場合

[奥行寸法] D300設置の場合→320mm以上  
D450設置の場合→470mm以上  
D600設置の場合→620mm以上  
D300、D450にハンガータイプ設置の場合→560mm以上  
[高さ寸法] 2040mm以上

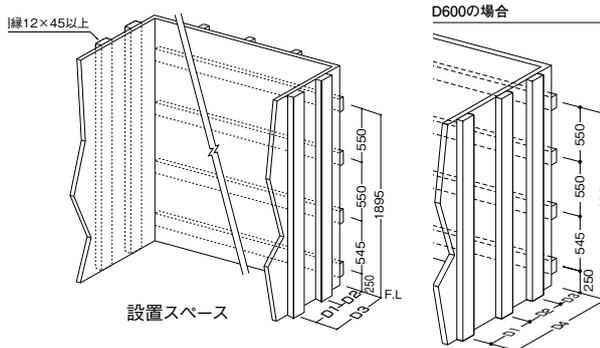


洋服を収納するプランの場合、棚板の奥行にかかわらず560mm以上の奥行を確保してください



### 設置部分の内装仕上げ

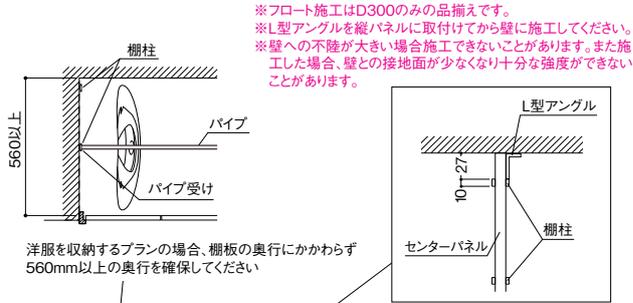
内装仕上げの下地材は合板12mm厚以上が最適です。石膏ボードや合板5.5mm厚など、ビス保持力の弱い仕上げ材を使用される場合は図の位置に胴縁を設けてください。



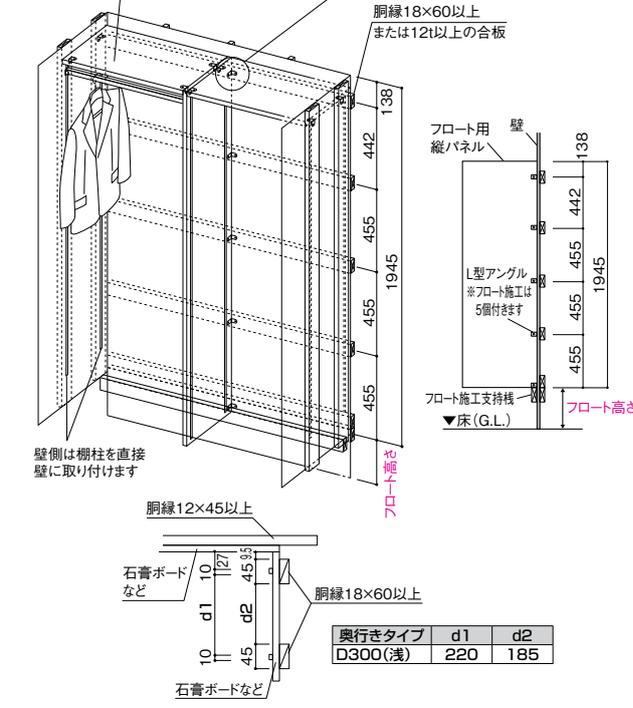
| 奥行タイプ   | D1  | D2  | D3  | D4  |
|---------|-----|-----|-----|-----|
| D300(浅) | 230 | -   | 262 | -   |
| D450(中) | 380 | 33  | 412 | -   |
| D600(深) | 310 | 230 | 33  | 573 |

### 設置の条件 フロート施工の場合

[奥行寸法] D300設置の場合→320mm以上  
D300にハンガータイプ設置の場合→560mm以上  
[高さ寸法] 2040mm以上

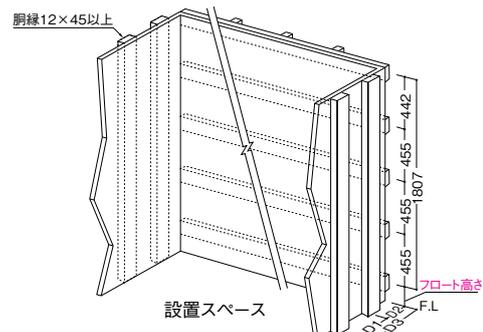


洋服を収納するプランの場合、棚板の奥行にかかわらず560mm以上の奥行を確保してください



### 設置部分の内装仕上げ フロート施工の場合

内装仕上げの下地材は合板12mm厚以上が最適です。石膏ボードや合板5.5mm厚など、ビス保持力の弱い仕上げ材を使用される場合は図の位置に胴縁を設けてください。



| 奥行タイプ   | D1  | D2 | D3  |
|---------|-----|----|-----|
| D300(浅) | 230 | 32 | 262 |

クローク収納  
内部ユニット FiTIO(フィティオ) 側面棚柱タイプ

## 施工情報

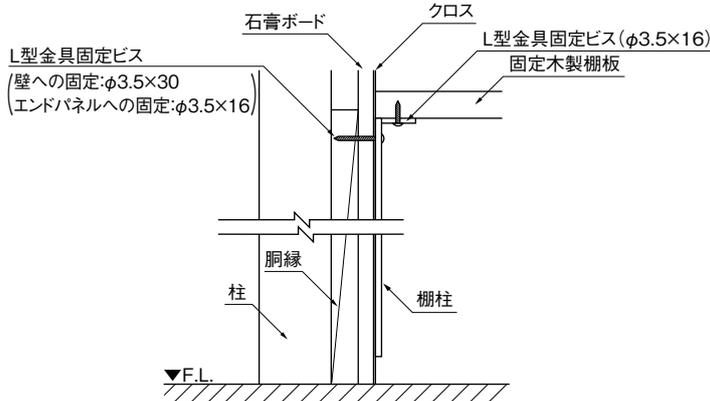
## 設置場所の内装仕上げ

## 【壁面・床面の仕上げ】

12mm厚程度の合板下地が最適ですが、胴縁を設けて他の壁材の使用もできます。

## 石膏ボード仕上げの例

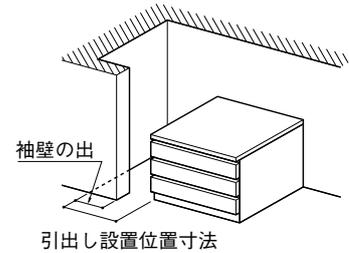
※胴縁にビス留めしてください。



## 引出しの設置位置

設置間口の関係から引出しの設置位置に制約があります。

**ご注意** 側面の壁から、袖壁の出+30mm以上離して設置してください。引出しが設置スペースから引出せなくなることがあります。



収納

## ユニットの選び方

## ①高さについて

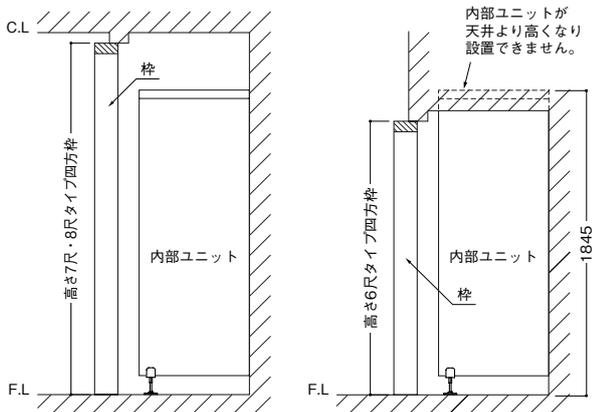
H1750パネル:収納内部の天井高1845mm以上

H1945パネル:収納内部の天井高2040mm以上

立面図 (クローク収納 扉・枠ユニットとの納まり)

【高さ7尺・8尺枠使用の場合】※1

【高さ6尺枠使用の場合】



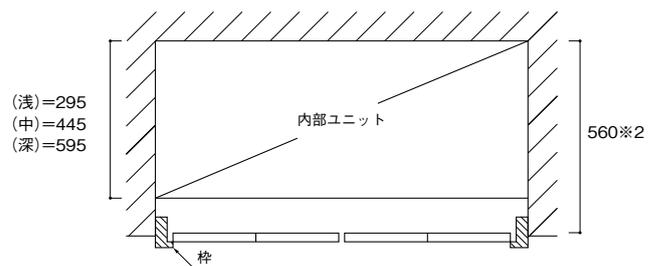
※1 H1750パネルの場合、7尺以上の枠、H1945パネルの場合、8尺以上の枠を使用推奨。

## ②奥行について

設置箇所の奥行寸法を確認してから、(浅)型、(中)型又は(深)型をお選びください。

|          | 製品奥行寸法(mm) | 設置奥行必要寸法(mm) |
|----------|------------|--------------|
| D300(浅)型 | 295        | 320以上        |
| D450(中)型 | 445        | 470以上        |
| D600(深)型 | 595        | 620以上        |

平面図 (クローク収納 折戸扉・枠ユニットとの納まり)



※2 ハンガーパイプを設置する場合は棚板の奥行に関わらず、奥行560mm以上を確保してください。

クローク収納  
内部ユニット・折戸扉

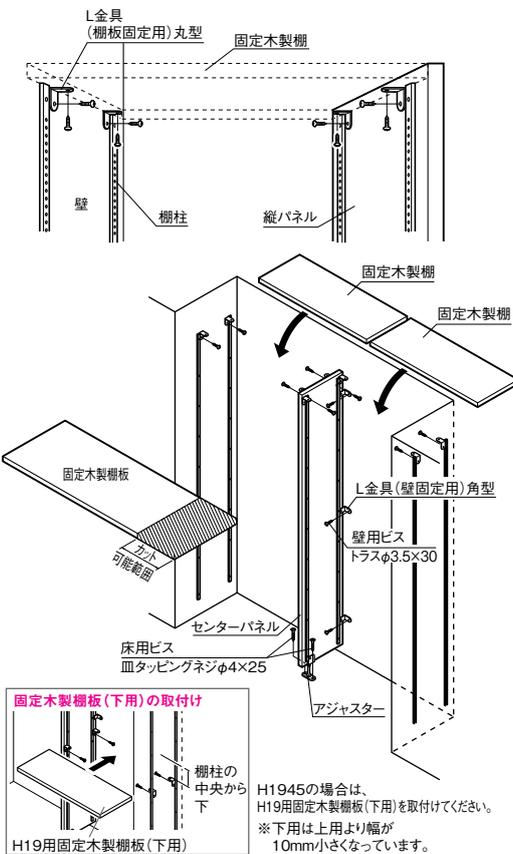
## 広間口への施工

### 壁面へ棚柱を取付けます。

- 付属の型紙に合わせて棚柱の壁からの位置を決め、付属ビスで固定してください。床からの高さ方向の位置は、センターパネルに取り付けられた棚柱の位置に合わせてください。棚柱の壁面への固定は、棚柱セットに付属の皿木ビスφ3.1×32で行ってください。
- 壁面への棚柱取付け後、固定木製棚板の固定用L金具を壁面へ取り付けてください。壁への固定はトラスφ3.5×30で取付けてください。取り付け位置は、縦パネルへの取り付け同様、棚柱に接する位置に取り付けてください。

### 棚板を取付けます。

最初に固定木製棚板を取り付けます。  
※固定木製棚板は、ユニットの最上段にしか取付けることができません。  
(H1945パネルを使用する場合は中央より下に固定木製棚板(下用)を取付けます。)  
取付けは、あらかじめ取付けられている棚板固定用L金具に取り付けてください。  
棚板後ろ木口が壁に当たるようにして取り付けてください。  
棚板、縦パネルに取付けるビスはトラスφ3.5×16を使用してください。  
※図はH1750の場合です。H1945の場合は壁固定するビス・L金具の数が異なります。



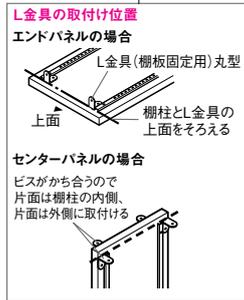
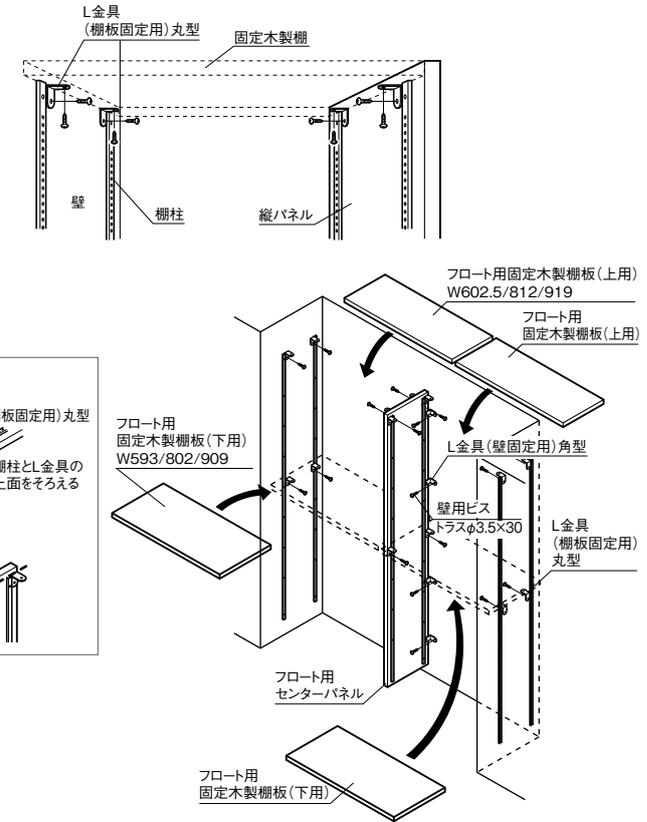
## フロート施工

### 壁面へ棚柱を取付けます。

- 付属の型紙に合わせて棚柱の壁からの位置を決め、付属ビスで固定してください。床からの高さ方向の位置は、フロート用センター縦パネルに取り付けられた棚柱の位置に合わせてください。棚柱の壁面への固定は、棚柱セットに付属の皿木ビスφ3.1×32で行ってください。
- 壁面への棚柱取付け後、固定木製棚板の固定用L金具を壁面へ取り付けてください。壁への固定はトラスφ3.5×30で取付けてください。取り付け位置は、縦パネルへの取り付け同様、棚柱に接する位置に取り付けてください。

### 棚板を取付けます。

最初に上部の固定木製棚板を取り付けます。  
※フロート用固定木製棚板は、ユニットの最上段に取付けるものと中央より下位置に取付ける2枚あります。  
取付けは、あらかじめ取付けられている棚板固定用L金具に取り付けてください。  
棚板後ろ木口が壁に当たるようにして取り付けてください。  
棚板、縦パネルに取付けるビスはトラスφ3.5×16を使用してください。  
※図はH1750の場合です。H1945の場合は壁固定するビス・L金具の数が異なります。

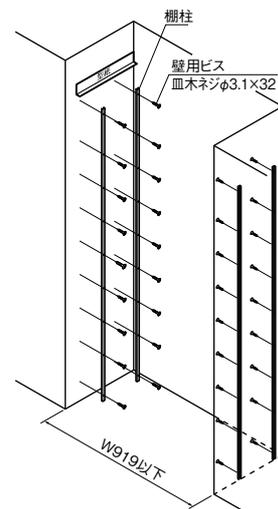
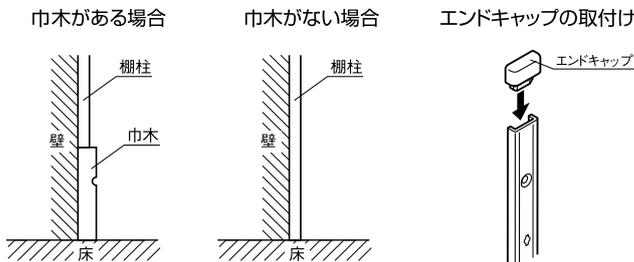


## 小間口への施工

※間口919mm以下の間口に施工できます。

### 指定の下地を施した壁面へ棚柱を固定します。

付属の型紙に合わせて棚柱の位置を決め、付属ビスで固定してください。壁面への固定は皿木ビスφ3.1×32で行ってください。  
※棚柱をインパクトドライバー、電動工具を使って固定する場合、締め付けトルクにご注意ください。トルクが強すぎるとネジの空回りやネジ切れなどが起こる場合があります。  
※巾木などが使われている場合は、巾木の上から施工してください。その際、向かい合う棚柱の高さは合わせてください。  
※棚柱取付け後は、付属のエンドキャップを棚柱上木口に取付けてください。



# クローク収納 内部ユニット FiTIO(フィティオ) 側面棚柱タイプ

## 施工情報(オンボード工法) / 寸法図

### 広間口(W920以上)への施工(オンボード工法)

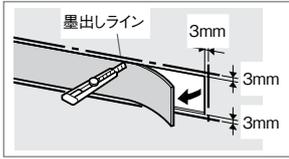
#### クロスをはがす

1. プラン図面を確認して墨出ししてください。

2. 墨出しラインの3mm内側に切込みを入れて、クロスをはがしてください。

#### ❖ 施工上のご注意

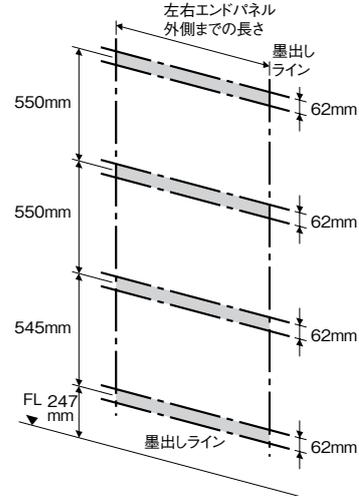
- 収納プランニングソフトで作成したプラン図面を基に、出されている墨出しラインを確認してください。  
※プラン図面がない場合、ご注文された弊社営業窓口にご相談ください。
- 桧木は接着すると取外すことができません。墨出しは正確におこなってください。



#### ❖ 施工上のご注意

- 壁下地を傷つけないように注意してください。下地にキズがつくと、強度が低下するおそれがあります。
- クロスが残らないようにはがしてください。クロスが残っていると、強度が低下するおそれがあります。

図はH1945の場合



### オンボード工法用棧の準備

#### ❖ 施工上のご注意

以下の内容を守らないと、接着不良になり、十分な強度が得られません。製品の落下や破損、けがをするおそれがあります。

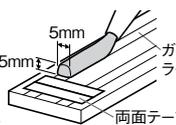
- 施工可能温度：室温5℃～35℃
- 接着剤を塗布してから、以下の時間内に壁面に貼付けてください。  
・室温23℃の場合：10分以内  
・夏場30℃の場合：5分以内
- 固定部材が複数ある場合は、1本ずつ接着剤の塗布・接着をおこなってください。
- 貼り合わせが可能な時間内に貼り合わせないと、接着不良になり、製品の落下や破損のおそれがあります。



#### ⚠ 注意

ガイドラインが隠れるように(ビード径5mm以上)接着剤を塗布してください。

※DS接着剤は、1本あたり1本必要

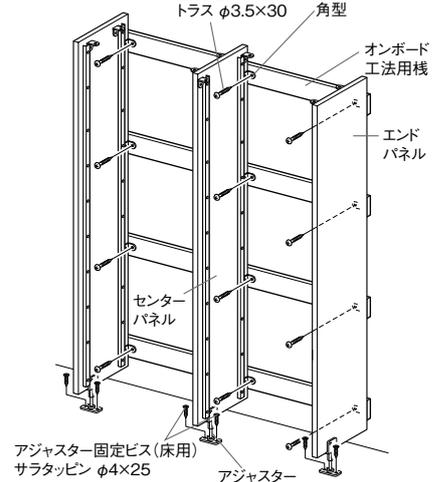


#### ❖ お願い

必ず専用接着剤をお使いください。専用接着剤以外を使うと接着効果が変わり、製品の落下や破損のおそれがあります。

### 縦パネルの取付け

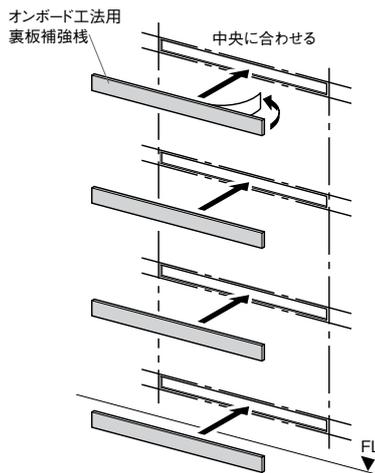
図はH1945の場合 壁固定ビス(壁用) L金具(壁固定用) トラス φ3.5×30 角型



### オンボード工法用棧の固定

#### ❖ 施工上のご注意

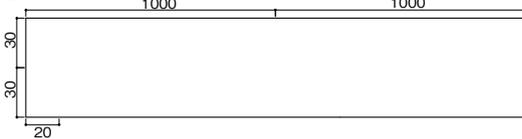
- オンボード工法用棧の養生のために、ビスや釘、タッカーを打たないでください。接着力不足になります。
- 接着後は1時間以上養生させてください。接着後すぐは強度が十分ではありません。
- 棧接着後は、接着力が強力なため位置の修正ができません。墨出し位置は、左右に3mmずつのクリアランスを設けていますが、墨出しラインからずれないように貼付けてください。



注) 上記以外の詳細につきましては、施工説明書にて必ずご確認ください。

### オンボード工法用棧

● 表面



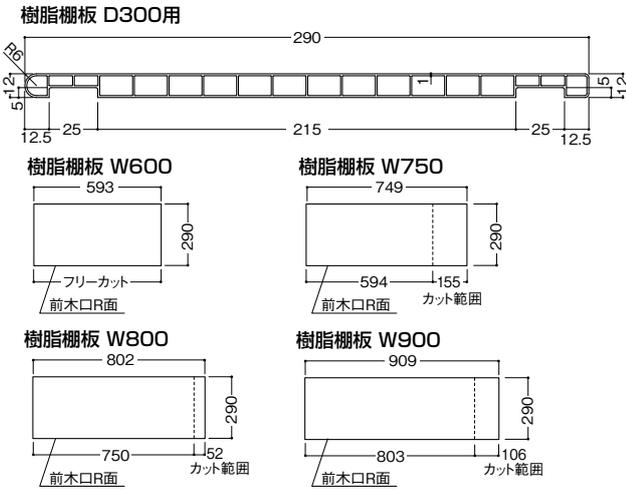
● 裏面



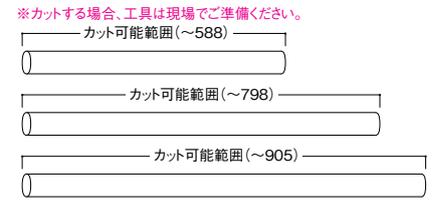




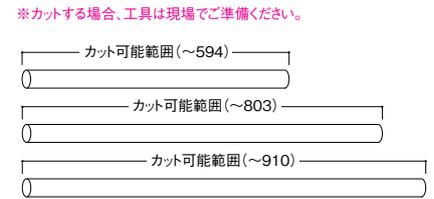
### 樹脂棚板



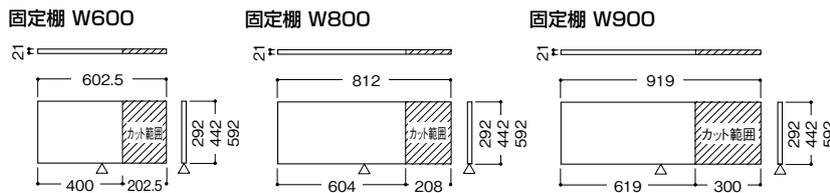
### ハンガーパイプカット可能範囲 (材質・アルミ)



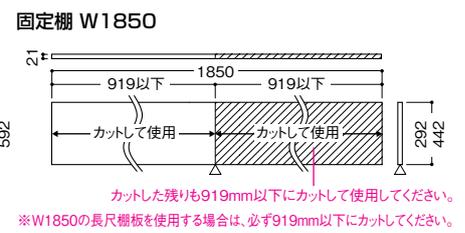
### ブーツハンガーパイプカット可能範囲 (材質・ステンレス巻パイプ)



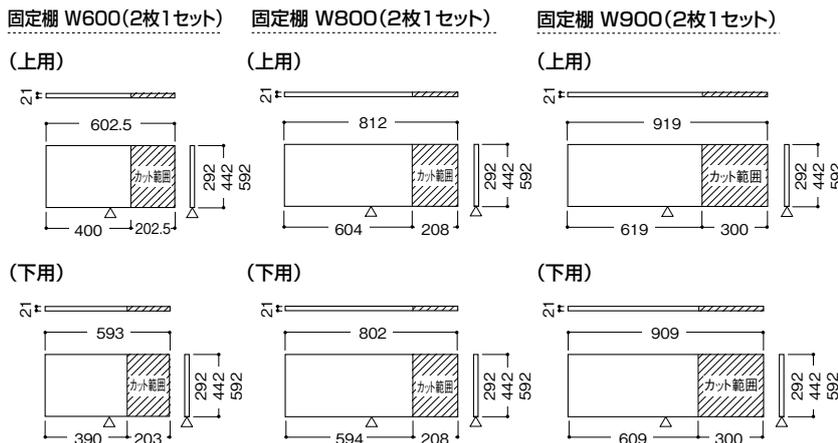
### 固定木製棚板 △は木口化粧面



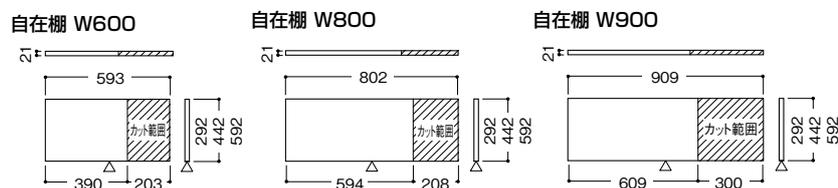
### カット専用固定木製棚板 △は木口化粧面



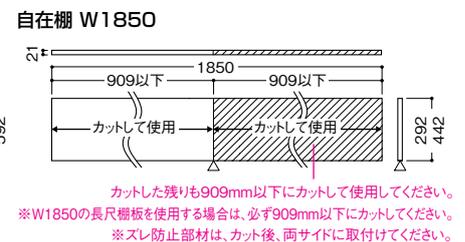
### フロート用/H19用(兼用)固定木製棚板 △は木口化粧面



### 自在木製棚板 △は木口化粧面



### カット専用自在木製棚板 △は木口化粧面

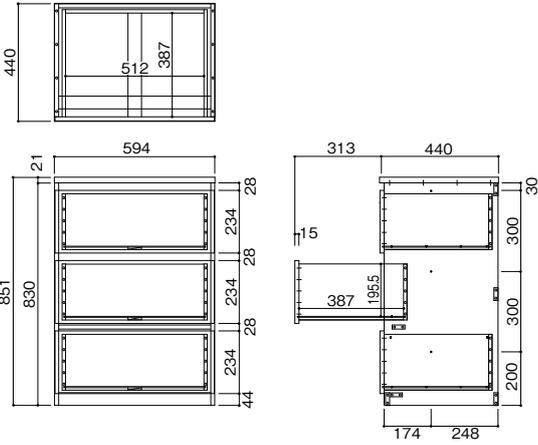


# クローク収納 内部ユニット FiTIO(フィティオ) 側面棚柱タイプ

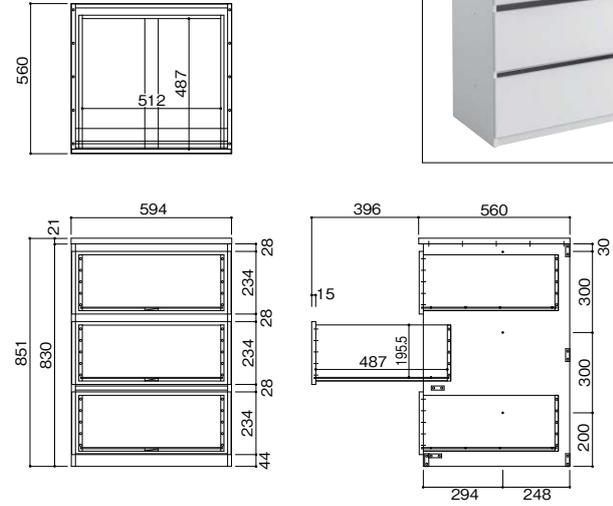
## 寸法図

### 置型引出し

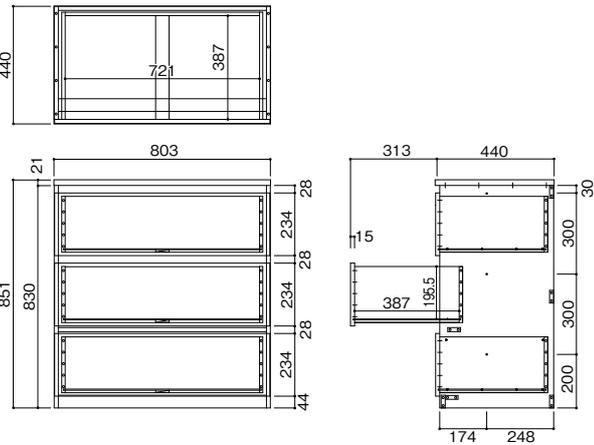
・置型引出し 3段600中



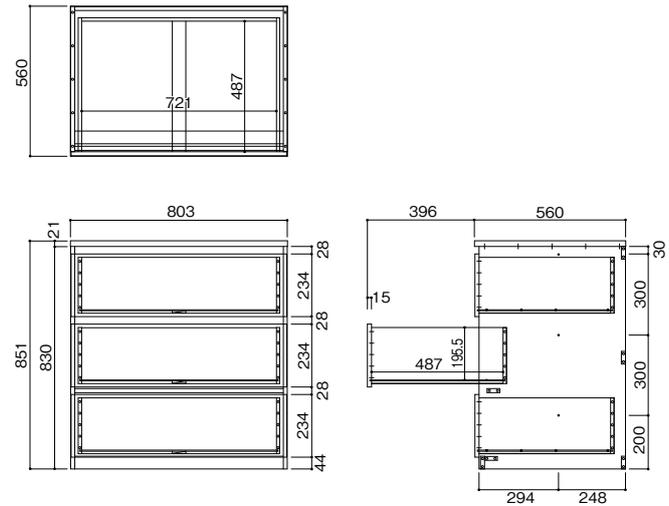
・置型引出し 3段600深



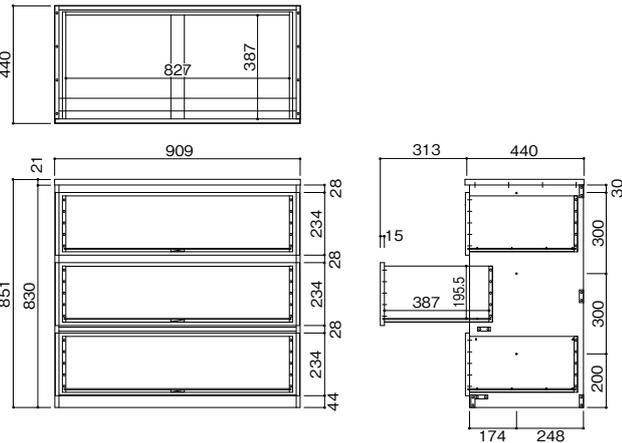
・置型引出し 3段800中



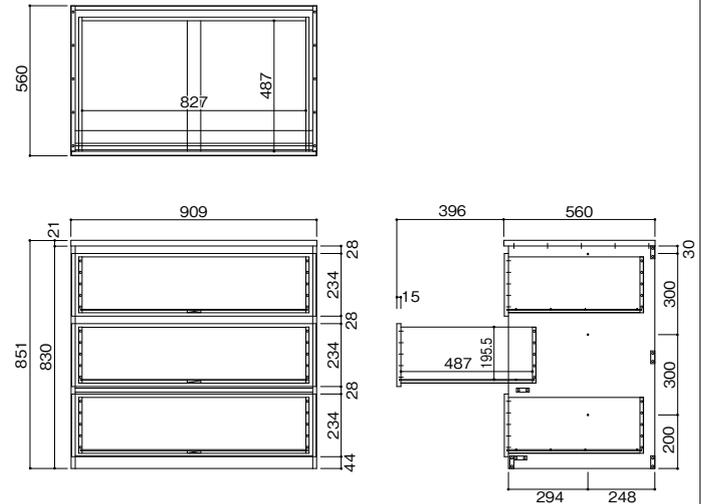
・置型引出し 3段800深



・置型引出し 3段900中



・置型引出し 3段900深

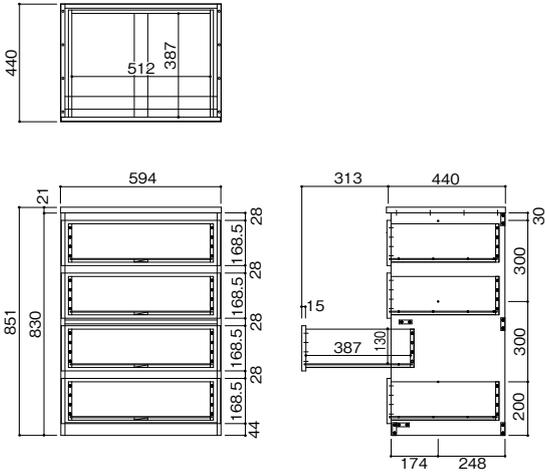


収納

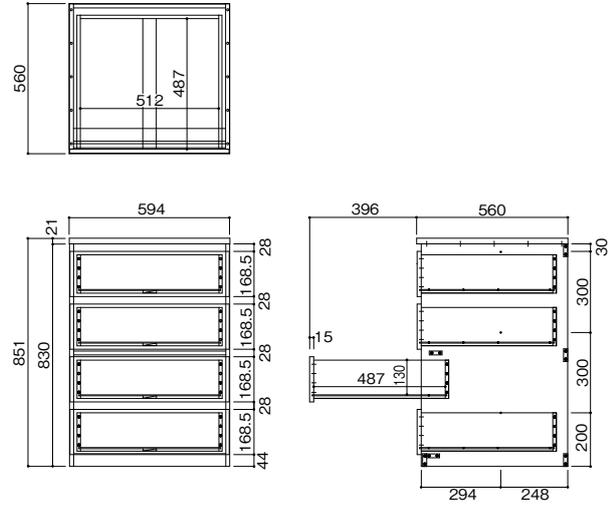
クローク収納  
内部ユニット・挿入扉板

置型引出し

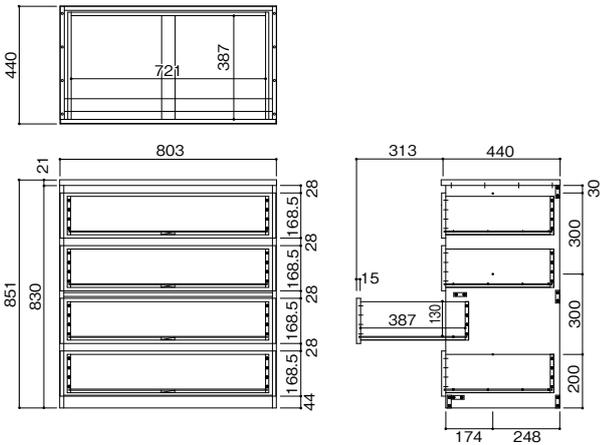
・置型引出し 4段600中



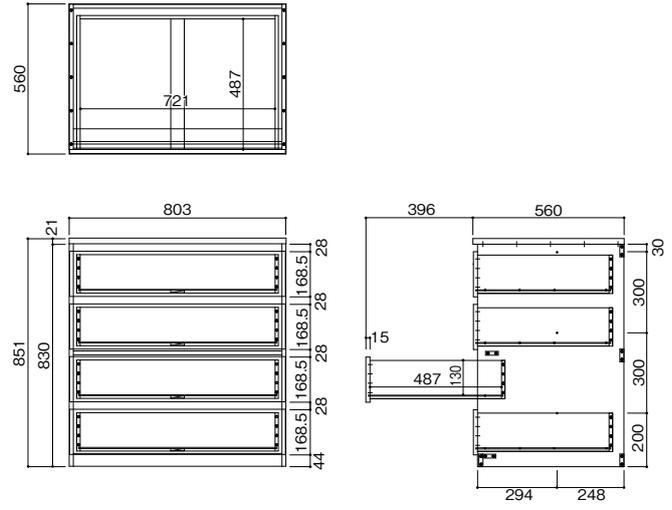
・置型引出し 4段600深



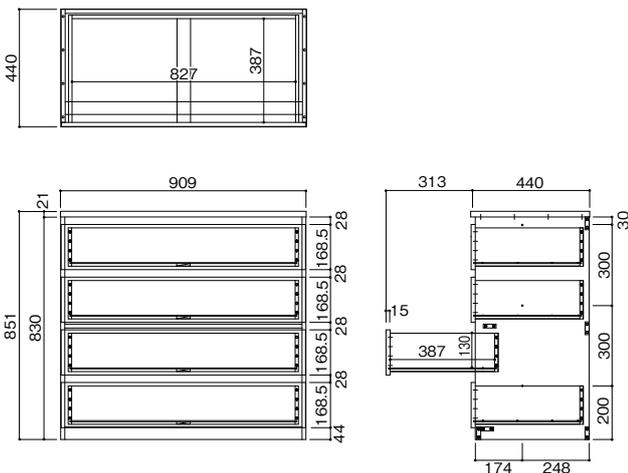
・置型引出し 4段800中



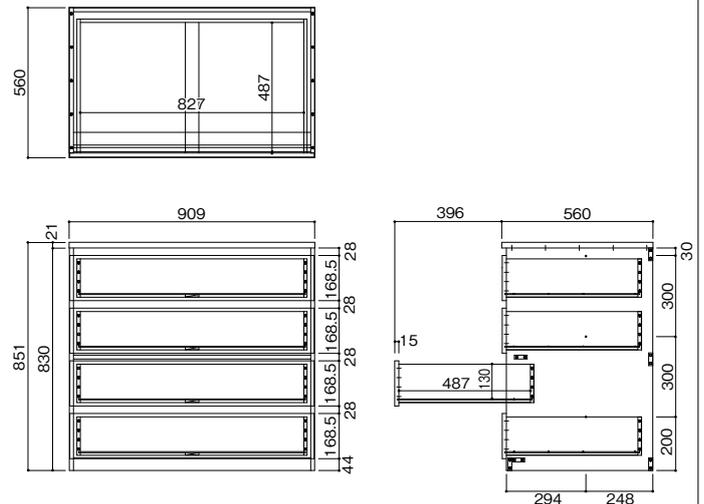
・置型引出し 4段800深



・置型引出し 4段900中



・置型引出し 4段900深



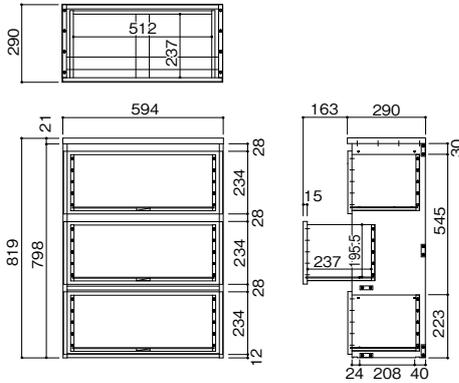
# クローク収納 内部ユニット FiTIO(フィティオ) 側面棚柱タイプ

## 寸法図

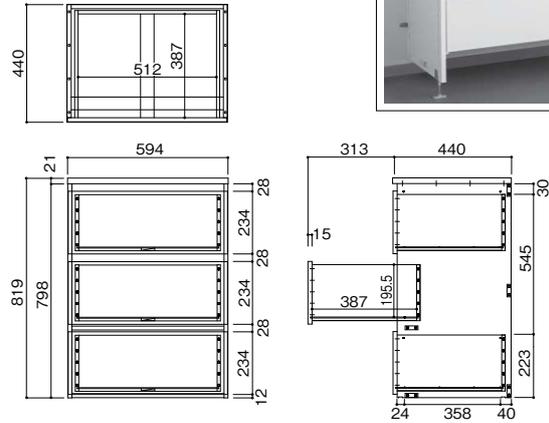
### フロント引出し



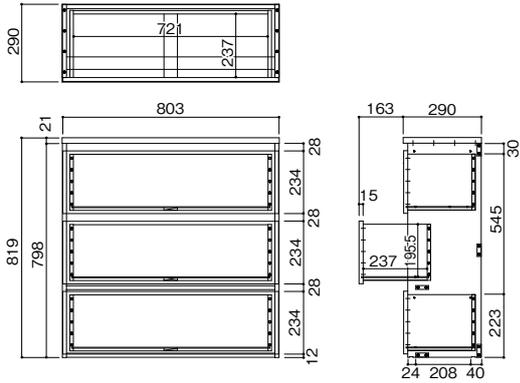
・フロント引出し 3段600浅



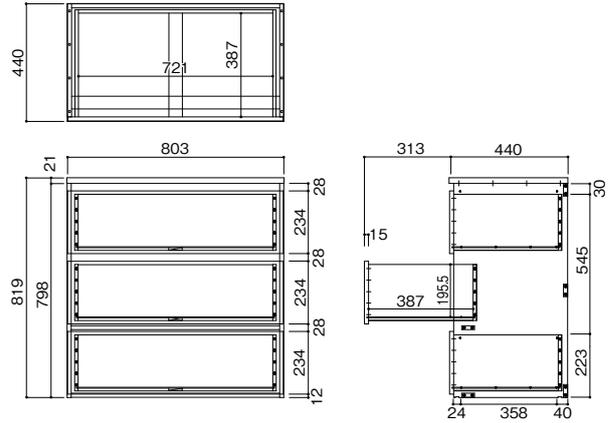
・フロント引出し 3段600中



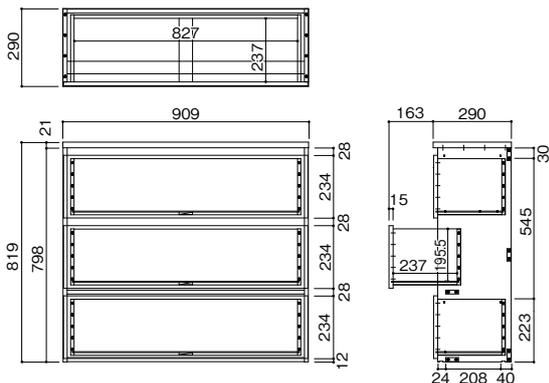
・フロント引出し 3段800浅



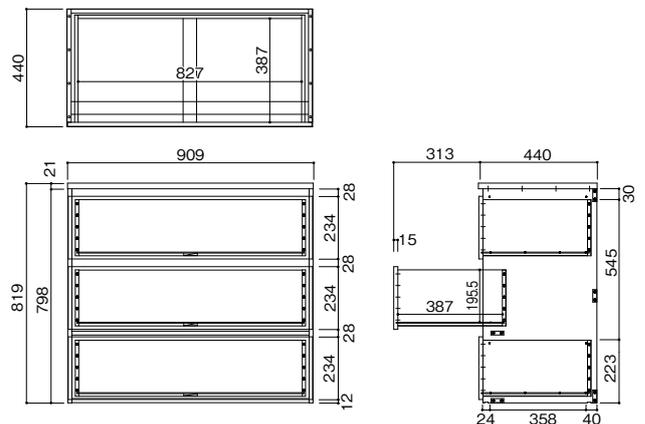
・フロント引出し 3段800中



・フロント引出し 3段900浅



・フロント引出し 3段900中

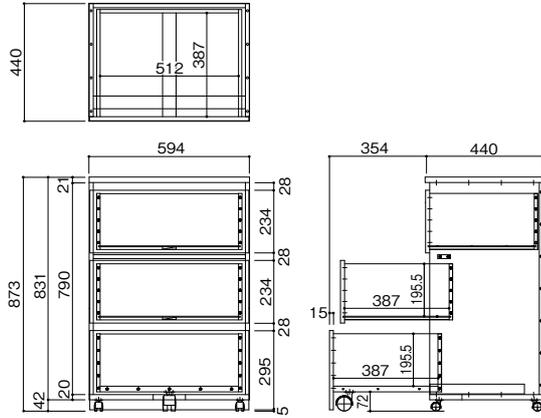


収納

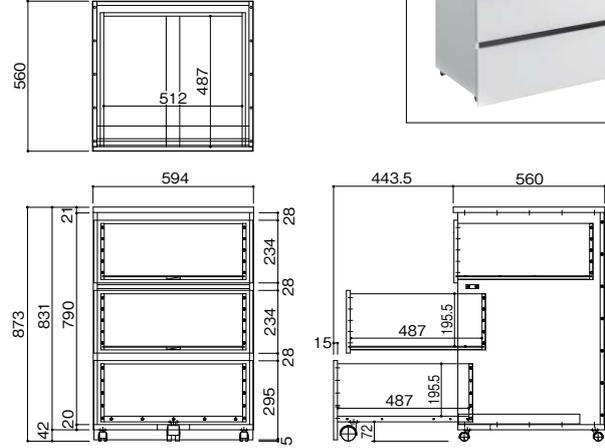
クローク収納  
内部ユニット・押入扉板

キャスター付き引出し

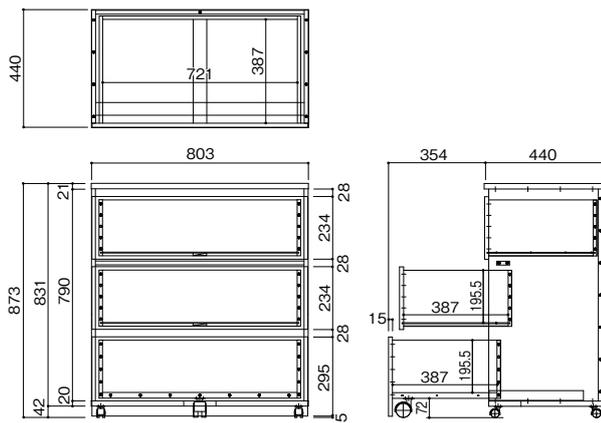
・キャスター付き引出し 3段600中



・キャスター付き引出し 3段600深



・キャスター付き引出し 3段800中



・キャスター付き引出し 3段800深

